

株式会社京都デザインファクトリー

伝統的な「物」から切り離れた和柄コンテンツのネットマーケティング事業

市場規模が最盛期の10分の1にまで落ち込み、後継者問題も生じる和装産業の図案（和柄）について、伝統的な「物」と切り離しデジタルコンテンツ化し、インターネットによって事業展開することで、新たな価値提供と商圏拡大を実現し、市場分野に捉われない幅広いビジネスを実現させます。

■代表者 代表取締役 成願 義夫
 ■設立 平成13年5月1日
 ■資本金 4,820千円
 ■従業員数 2人
 ■業種 専門サービス業
 ■所在地 〒606-8427
 京都府京都市左京区鹿ヶ谷法然院西町63-6
 ■TEL・FAX 075(741)7076・075(741)7335

■URL <http://www.wagara-kyoto.com>
 ■E-mail info@wagara.org
 ■得意分野 日本唯一の「和」専門デザイン会社です。和柄を中心とした日本の伝統美のエッセンスを生かし、現代のライフスタイルにマッチする和風デザインを提供しています。



事業の概要

■和装需要の減退と図案「和柄」再生の必要性

和装産業は市場規模が最盛期の10分の1にまで落ち込み、後継者問題も生じています。その中で、図案（和柄）についても伝統的な「物」（例えば着物）と切り離しデジタルコンテンツ化し、インターネットによって事業展開し、新たな価値提供と商圏拡大を実現していくことが、情報化社会への対応として必要となってきています。

■将来を見据えた図案家育成の重要性

日本文化の根幹である着物の中に、代表的な産業的染色法として、「型友禅」（型を使って布地に模様を染める技法）があります。型を彫るには絵に描いた下絵を必要とします。この下絵を描くことを本業とするのが図案家であり、着物の需要は色と柄で決まると言っても過言ではなく、柄が無ければ市場に流通することはありません。

にもかかわらず、和装産業の減退、図案という著作権法上では保護されにくい特徴、図案家の高齢化、時代になじまない徒弟制度などの影響で図案家も大きく減少しています。和装や図案家という業界において、情報化時代に適応した事業化の道筋と明るい展望を示さなければ、将来を見据えた才能ある人材を発掘し継承していくことが難しくなってきています。

■当社の独自資源と強み

当社は、伝統的様式美を継承しつつ、時代に即応した新しい和柄を生み出すことが出来る唯一無二の会社であると自負しています。これは質量ともにいえることです。現代の市場においてコンテンツが受け入れられるには、古典として画一化されず、むしろ多様化し、日々新たな商品を展開し続ける必要があります。しかし、一般のデザイナーやデザイナを抱える会社では、知識と技術が伴わず確かな基礎を踏まえた和柄を生み出すことは困難です。

当社では、20年も前から伝統的様式美を持った和柄をデジタル環境上で生み出す方法を模索し続けてきました。これは手描きした柄をデジタルデータに変換するという単純な方法では、とうてい実現不可能なことです。簡単に言えば、ペンタブレットにおける筆圧感知の感覚を前提としたパス・ベクトルデータ（コンピュータグラフィック用の形式）によるデジタルコンテンツ化を組織体制として実現しなければなりません。当社では、IT能力に習熟した人材が多数のコンピュータを駆使するデジタル処理体制を整えています。

■ITを活用した和柄デジタルコンテンツ流通のビジネスモデル

昨今はジャポニズムブームの世界的再燃により、衣・食・住・業の全ての分野において、和風テイストをあしらったデザインが人気

を博しています。これは一過性のものではなく、世界のデザインシーンにおいて定着し、広がりを見せています。

今回の事業では、従来の和装業界という限られたセグメントではなく、こういった和風テイストをあしらったデザインを欲するデザイン会社や広告代理店、海外を含む新しい市場開拓を目指す中小企業等を対象に、クラウドシステムを活用した流通システムで当社の和柄コンテンツを提供しています。ターゲットは国内のみならず海外も想定しており、国内向けシステムに加え多言語対応のシステムも導入しています。

事業の内容

■独自のクラウド型和柄コンテンツ流通システムの構築

当社の独自性は、「伝統的様式美を持った和柄のみ」を、「多数のコンテンツを用意」し、「本業である図案家」が、「常にオリジナルティのある新作を追加できる」という点で、他の競合サイトと一線を画しています。インターネット市場に広く対応できるシステム導入をはじめ、集客対策、環境・特性調査、効果の定量計測といったマーケティング機能を備えています。



デジタル処理体制

■導入システムの特徴

当社の導入したコンテンツダウンロードシステムは、自社（ブランド）のコンテンツのみを扱う「独立運営型」で、主な特徴は以下のとおりです。

- (1) システムで多言語展開が可能（テキスト原稿の訳文を準備するのみ）。
- (2) 1つのデザインに対して、サイズやファイル形式など毎に複数の価格設定が可能。
- (3) ユーザーのニーズに応える多様な検索機能。
- (4) 1つのデザインに対して、類似あるいは関連性の高いデザインを自動的に選択し表示。
- (5) ジャンル、カラー、用途等様々な切り口で特集ページを生成。

■当社の差別化ポイント

- (1) 当社ならではの新作柄をいち早く要望するユーザーは、システム更新という手順を経ず、クラウド上に登録された当社コンテンツの全デザインデータから選択することが出来ます。

企業概要

京友禅の図案家として活動後、昭和61年に成願義夫個人デザイン事務所を開設。平成13年に株式会社京都デザインファクトリー設立。

デザイン制作事業(和装及び和装関連・インテリア・壁画・襖絵等)/デザインコンテンツ事業(素材集出版・デザイン素材販売)/コンサルタント・教育事業(講演・セミナー・著作物の制作等)

主要製品



伝統工芸品の和柄デザイン



和柄デザインのマスキングテープ



和柄デザイン素材集(成願義夫著)

- (2) 一般的なユーザーのためには、多様な検索機能を備え、類似デザイン自動抽出機能によって必要なデザインを効率的に選択することも可能です。
- (3) なお、クラウドサービスのため、場所や端末を選ばずにデザインの選定や使用が出来、購入したデザインはクラウド上に保存され、いつでも取り出せます。



和柄コンテンツの流通サイト

尼崎市の金属加工業者では、当社と連携して、自社製品としてのスマホケースを開発しています。透かし彫りの技術を生かし繊細な和柄デザインを実現しています。数万円と高価なものですが、好評を博しています。また、四国のラベル等のメーカーと連携し、近年人気が高まっているマスキングテープに和柄デザインを適用し、「Kimono美」シリーズを生み出しています。一次産業では、和歌山の有田みかん農家のブランディングを担当しました。箱にはみかんの花もデザインモチーフとして描かれ、取扱業者や顧客からも大好評で、「箱のデザインがおしゃれなので、進物用としてニーズが拡大した」とのことです。

■消費者との連携の広がり

消費者・生活者との連携の広がりも、今回の事業の成果といえます。伝統ある和柄のデザインを生活に取り入れ、自らの生活を豊かなものにしようという活動は着実に増えています。当社がPHP研究所から出版した「和柄のヒーリングぬり絵ブック」と「京友禅のヒーリングぬり絵ブック」は、各数万部発行される等、生活者から大きな反響を呼んでいます。繊細な日本美に自ら触れることが出来、高齢の母親が生き生きとしていますという声も届いています。



和柄のスマホケース



和柄のみかん箱

事業の成果

■一次・二次産業からの和柄デザイン需要の拡大

従来からの印刷、広告、テレビ・ゲーム業界等三次産業からのニーズに加え、一次・二次産業からのニーズが広がっています。経済のグローバル化の中で、一次産業・二次産業は、海外農畜産物等の国内進出、生産拠点の海外移転等、厳しい競争環境におかれています。一方ジャポニズムの復興やクールジャパンにみられるように、日本的価値への関心が大きく高まっています。このような中で、一次産業・二次産業においても海外進出も含め付加価値の高い製品を開発し、世界をもマーケットに事業の発展を図ろうとする意欲ある中小事業者が増えてきています。当社のサイトで本格的な和柄デザインの質を高く評価いただき、オリジナルデザインの依頼も増えてきています。

今後の事業展開

今回の事業を通じて、情報化時代に対応した和柄デザインの可能性は大きく進展したと考えており、「一次産業のブランディング強化」のように、今後とも様々な分野の業界との連携を拡大し、事業の発展を図っていく考えです。また、消費者・生活者との一層の連携も重要と考え、新たに出版部門を設けており、「大人のぬり絵」などは自社出版に切り替えています。

更に、日本文化としての和柄デザインを継承・発展させていくためには、和柄のデジタルコンテンツに習熟した優秀で意欲ある人材を育成していくことが重要であり、セミナーや塾の開催等教育事業にも力を入れていきたい考えです。